

秋田県産りんごの台湾輸出について

株式会社秋田銀行（頭取 新谷 明弘）のグループ会社 詩の国秋田株式会社（代表取締役 伊藤 晋宏）、J Aかつの（代表理事組合長 菅原 俊二）および株式会社松紀（代表取締役 佐藤 文信）は、秋田県と連携のうえ、秋田県産りんご 680 kg（6 8 ケース）を台湾に輸出しましたのでお知らせいたします。

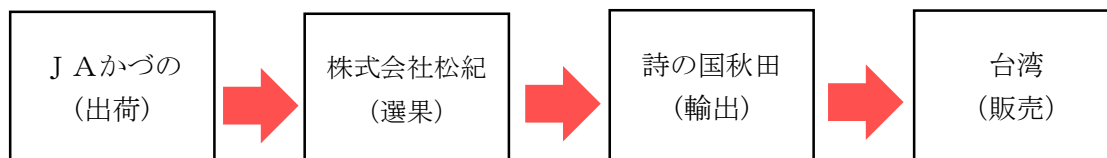
今年は、品種の多様化による輸出拡大を目指し、一昨年から輸出している県産オリジナル品種「秋田紅あかり」に加えて、中生品種の「昂林」と「シナノスイート」を台湾に初めて輸出しております。輸出されたりんごは、1 1 月 2 3 日（木）～1 2 月 6 日（水）に台北市内の 3 つの百貨店で実施される「秋田フェア」で販売され、生産者によるプロモーションが行われます。

なお、「秋田紅あかり」は、1 2 月にも約 1 t（100 ケース）の輸出を計画しています。

当行グループでは、継続的な台湾向けの商流構築を目指すとともに、引き続き秋田県産品の販路拡大をはかってまいります。

記

1 「秋田県産りんご」の輸出の流れ



2 台湾での販売場所

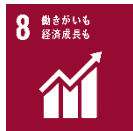
販売場所	微風廣場・微風南山・遠東SOGO台北忠孝店
期 間	1 1 月 2 3 日（木）～1 2 月 6 日（水）

【輸出する秋田県産りんご】



左から「秋田紅あかり」、「昂林」、「シナノスイート」

（以 上）



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015 年に国連で採択された持続可能な開発目標であり、2030 年までに解決すべき世界的優先課題 17 目標と目標を達成するための 169 のターゲットが示されています。